

つ つなげよう未来へ！
し 市民協働による
ま まちづくり



令和4年度

組織目標の成果

～「持続可能なしまづくり」を目指して～



長崎県対馬市

… 自立と循環の宝島 対馬 …

～ 目 次 ～

I	組織目標の評価一覧	・ ・ ・ ・ ・	1
---	-----------	-----------	---

II	組織目標の成果（個票）	・ ・ ・ ・ ・	3
----	-------------	-----------	---

1	総務部	・ ・ ・ ・ ・	3
2	しまづくり推進部	・ ・ ・ ・ ・	8
3	観光交流商工部	・ ・ ・ ・ ・	13
4	市民生活部	・ ・ ・ ・ ・	17
5	福祉保険部	・ ・ ・ ・ ・	22
6	健康づくり推進部	・ ・ ・ ・ ・	26
7	農林水産部	・ ・ ・ ・ ・	28
8	建設部	・ ・ ・ ・ ・	33
9	水道局（部）	・ ・ ・ ・ ・	37
10	中対馬振興部	・ ・ ・ ・ ・	39
11	上対馬振興部	・ ・ ・ ・ ・	42
12	会計管理者	・ ・ ・ ・ ・	46
13	消防本部	・ ・ ・ ・ ・	47
14	教育委員会事務局	・ ・ ・ ・ ・	50
15	議会事務局	・ ・ ・ ・ ・	54
16	監査委員事務局	・ ・ ・ ・ ・	55

17	農業委員会事務局	・ ・ ・ ・ ・	56
----	----------	-----------	----

18	選挙管理委員会事務局	・ ・ ・ ・ ・	57
----	------------	-----------	----

令和4年度 対馬市組織目標の評価一覧

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
総務部	1	01-01	第2期公共施設等個別施設計画の策定	△
	2	01-02	健全な財政運営と財政状況のわかりやすい公表	◎
	3	01-03	入札・契約の適正化	○
	4	01-04	公園等公共施設の維持管理	○
	5	01-05	デジタル活用支援の実施	○
こまのまちづくり推進部	6	02-01	第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理	○
	7	02-02	SDGsの推進	○
	8	02-03	企業版ふるさと納税の活用	◎
	9	02-04	様々な機関や業種団体と連携した産業の振興	○
	10	02-05	U・Iターン推進事業	○
観光交流商工部	11	03-01	Wコロナ・Aコロナにおける観光客受入体制の整備	○
	12	03-02	国内外の交流の促進	○
	13	03-03	教育普及活動（ワークショップ等の開催）	◎
	14	03-04	よりあい処つしまを核とした観光・物産情報の受発信	○
市民生活部	15	04-01	窓口サービスの質の向上	○
	16	04-02	徴収率の向上	△
	17	04-03	ごみのリサイクル推進と環境意識の向上	△
	18	04-04	漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策の推進	○
	19	04-05	窓口サービスの向上、税の徴収率向上及び水道料金の収納率向上	△
福祉保険部	20	05-01	高齢者の生きがいの創出	△
	21	05-02	あらゆる貧困の解消	△
	22	05-03	生活困窮者の自立支援及び適正な保護決定・実施	○
	23	05-04	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	○

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
健康づくり推進部	24	06-01	特定健診の受診率向上	△
	25	06-02	認知症に関する知識や介護方法の周知・啓発	◎
農林水産部	26	07-01	対馬しいたけ振興事業	△
	27	07-02	学校給食地産地消推進	○
	28	07-03	生物多様性の保全	○
	29	07-04	水産業者や漁村への支援	△
	30	07-05	磯焼け対策の実施	◎
建設部	31	08-01	市営住宅使用料未収金の縮小	△
	32	08-02	公共工事の早期発注と早期完成（建設課）	○
	33	08-03	基盤整備工事の早期発注と早期完成	○
	34	08-04	公共工事の早期発注と早期完成（北部建設事務所）	○
（水道局）	35	09-01	水道料金の収納率の向上	○
	36	09-02	水道事業の有収率の向上	△
中対馬振興部	37	10-01	中対馬未来づくりアクションプランの推進	△
	38	10-02	窓口サービスの満足度向上と税・水道料金の納付促進及び管轄地区内の環境美化推進	○
	39	10-03	窓口サービスの満足度向上と税・水道料金の納付促進	△
上対馬振興部	40	11-01	対馬の自然を生かした観光地の整備（三宇田浜園地）	△
	41	11-02	対馬の自然を生かした観光地の整備（鰐浦園地）	△
	42	11-03	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上	○
	43	11-04	対馬の希少動物の保存と活用による観光振興	◎
会計	44	12-01	安全で効率的な公金管理と適正な会計事務	△
消防本部	45	13-01	地区消防団員の増員、車両の適正配備及び資機材の充実配備	×
	46	13-02	応急手当の普及啓発活動	△

評価集計表

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
消防	47	13-03	防火対象物及び危険物施設に関する違反是正	×
教育委員会事務局	48	14-01	島っこ留学制度による留学生の招致推進	△
	49	14-02	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成	◎
	50	14-03	生涯・競技スポーツの普及振興	○
	51	14-04	文化財の保存・活用	◎
議会	52	15-01	議会運営の充実と市民に開かれた議会	○
監査	53	16-01	監査等の実施における適正な事務補助	○
農委	54	17-01	農地等の利用の最適化の推進	○
選管	55	18-01	投票参加の促進	○

項 目		結 果
◎	目標を上回る実績	8
○	目標どおりの実績	27
△	目標を下回る実績	18
×	目標を著しく下回る実績	2
—	評価不能	0
計		55

令和 4 年度 総 務 部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		第2期公共施設等個別施設計画の策定												
取組の内容		①公共施設等適正管理推進事業債の適用期間の延長が決定し、引き続き有利な地方財政措置が受けられることから、公共施設等の適正管理を推進するため、昨年度未策定となった標記計画を年内に策定します。 ②次回の見直しに備え、基礎データを整理します。												
指標（数値目標）		①施設類型毎の保有面積の縮減のための方針策定 ②公共施設データベースと施設カルテの整理（1500件）												
SDGs指標									達成時期		令和4年12月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各部会における検討協議（随時）														
適正管理推進委員会														
パブリックコメント														
議会への説明														

課名等	総務課	全体	1
		個別	01-01

指標に対する実績	①施設類型毎の保有面積の縮減方針は、定めることができなかったが、すべての施設を対象に建替え等の際は、1割以上の減築に努めることを方針として定めました。 ②データベースの整理は概ね完了しましたが、施設カルテについては、対策方針の決定において重要な資料となるもので、既存様式から全面改訂が必要であり着手できませんでした。		
評価	・個別計画の策定年度が1年遅れたことで、部会決定方針の再確認を担当部署へ再度照会するなど、手戻りが発生し、個別施設計画書の策定完了が3月にずれ込みました。		
	評価記号	△	
今後の展開	・第2期個別施設計画で定めた集会施設の劣化状況調査に取り組み、老朽化した集会施設の更新順位を定めるためのデータ蓄積と整理を進めます。		

令和 4 年度 総 務 部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		健全な財政運営と財政状況のわかりやすい公表											
取組の内容		・市の財政状況や予算・決算などについて、広報つしまとホームページに見やすく、わかりやすく掲載し、市民が関心や理解を深められるように公表します。 ・令和3年度策定した第4次対馬市中期財政計画の進捗状況を注視しながら健全な財政運営を実施します。											
指標（数値目標）		・令和3年度当初予算の概要（HP・広報つしま）5月 ・予算の執行状況（HP・広報つしま）5月・11月 ・令和3年度決算（HP・広報つしま）1月 ・令和3年度財務書類（HP）3月 ・対馬市中期財政計画の見直し及び公表（HP）3月											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健全な財政運営													
ホームページと広報つしまによる財政状況の公表													
わかりやすい予算概要版の作成及び配布													
統一的な基準による財務書類作成及び公表													
第4次中期財政計画の見直し													

課名等	財政課	全体	2
		個別	01-02

指標に対する実績	・令和4年度当初予算の概要 ホームページと市報に掲載 ・予算の執行状況 ホームページと市報に掲載 ・令和3年度決算 ホームページと市報に掲載 ・令和3年度財務書類 ホームページに掲載 ・対馬市中期財政計画の見直し及び公表 単年度見直しを実施	
	本市の財政状況や当年度の事業内容等を広報やホームページで、市民にわかりやすく公表し、中期財政計画についても、これまで5年毎に策定していましたが、現状との乖離を防ぐために、計画額のみを単年度更新することに見直すなど、全般において目標をクリアすることができました。	
評価	評価記号 ◎	
	今後の展開 今後ますます厳しい財政状況となることが予想されるので、対馬市中期財政計画を指針として、健全な財政運営を実施し、市の財政状況について市民にわかりやすい形で公表していきます。	

令和 4 年度 総 務 部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		入札・契約の適正化											
取組の内容		一年を通して入札制度の検証を行い、公正性の確保と客観性・透明性を保持します。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県と歩調を合わせ、適正な落札率となるように取り組みます。また、入札参加資格者申請についても適宜検証を行い、必要に応じ改善します。さらに、業者の格付けについても検証し、格付けに偏りがあれば見直します。											
指標（数値目標）		・最低制限基礎価格の乗率を建設工事は、90％、コンサル業務、役務は75％とすることを継続し適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・入札参加資格申請について、検証を行い、必要に応じ改善します。 ・格付けについて検証し、格付けに偏りがあれば見直します。 ・当初発注予定工事の入札実施目標 80件											
SDGs指標		8 働きがいも 経済成長も 12 つたえ責任は のやり方						達成時期			令和5年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札・契約制度の検証													
入札参加資格者申請の検証													
業者の格付け検証													

課名等	財政課	全体	3
		個別	01-03

指標 に対する 実績	本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事132件、建設工事関連コンサルの入札87件、物品・役務等62件でした。 予定価格に対して各平均落札率は、建設工事で90.82%、コンサル業務、役務は89.15%で昨年度より下回る結果となりました。	
評価	落札率はほぼ昨年度と同水準であり、適正に推移しているものと考えますが、建設工事、コンサル業務・役務については昨年度より若干下回る結果となりました。 建設工事の入札における工事費内訳書の提出により見積能力のないような不良・不適格業者の参入を排除し、併せて談合等の不正行為やダンピング受注がない入札を実施できました。	
	評価記号	○
今後の展開	国・県や他市町の動向を注視しながら、公正性・公平性・客観性・透明性を確保するため、入札契約制度を検証します。	

組織目標と成果

課名等	財産管理運用課	全体	4
		個別	01-04

[illegible]

指標に対する実績	公園施設、キャンプ場、海水浴場の施設点検を計画どおり実施できました。	
評価	計画的な定期点検を行うために点検記録表を作成し、公園施設、キャンプ場、海水浴場において、軽微な修繕や補修を行いながら維持管理を実施した結果、大きな事故等もなく、また、閉鎖や休止等の措置を取ることなく管理運営を行うことが出来ました。	
	評価記号	○
今後の展開	今後も施設の現状を把握し、適宜対応できる体制を整え、引き続き、快適に利用していただくために環境美化に取り組み、安心安全に利用できるよう施設の維持管理を実施します。	

令和 4 年度 総 務 部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		デジタル活用支援の実施											
取組の内容		「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」に向け、身近に支援者がいない高齢者等がデジタル社会の利便性を実感できるようスマートフォン操作やアプリの活用等について1対1での支援を実施します。 市内の市役所庁舎に5月よりスマートフォン相談窓口を設置します。											
指標（数値目標）		①スマートフォン相談窓口の設置回数 12回/年 ※月1日×10か月（5月、7月～3月）＝10回/年 月2日×1か月（マイナポイント付与開始6月）＝2回/年 ②延べ相談件数 60件 ※5件/日×12回/年＝60件											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支援委託先の決定及び打合せ													
スマートフォン相談窓口設置													

課名等	デジタル推進課	全体	5
		個別	01-05

指標に対する実績	①スマートフォン相談窓口の設置回数 12回/年 ②延べ相談件数 58件	
評価	相談窓口は、目標の回数で開催ができましたが、開催案内を広報及び前々日の屋外拡声放送で実施したものの周知が不十分であったため、相談件数が下回りました。	
今後の展開	評価記号	○
今後、スマートフォンの需用は高まっていくことから、継続して相談窓口を設置し、開催案内は、従来の方法に加えて、携帯キャリアショップ、高齢者等関係団体や施設等で掲示、啓発の協力を依頼を予定しています。		

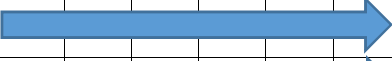
組織目標と成果

課名等	政策企画課	全体	6
		個別	02-01

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり、なりわいづくり														
	最優先課題	複数（人口減少対策）														
項 目		第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理														
取組の内容		令和元年度に策定した「第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（KPI）の達成状況及び令和3年度地方創生推進交付金の実績状況を外部委員等で組織する総合戦略推進会議において検証するとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、総合戦略の見直しを行います。														
指標（数値目標）		○第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況及び進捗状況の把握、昨年度における主要施策毎のKPIの達成状況の把握 ⇒総合戦略推進会議の開催1回 ○KPI達成のための各種交付金の活用 ・地方創生推進交付金の新規申請件数：3件 ・離島活性化交付金の新規申請件数：3件														
SDGs指標											達成時期			令和5年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
対馬市総合戦略推進会議の開催																
市議会全員協議会での説明																
主要施策（新規施策）に係る関係課ヒアリング及び協議のためのPTの開催																
令和5年度地方創生推進交付金新規事業の活用																
令和5年度離島活性化交付金新規事業の活用																

指標に対する実績	・総合戦略推進会議の開催：1回 ・地方創生推進交付金の新規申請件数：2件 ・離島活性化交付金の新規申請件数：4件	
評価価値	令和4年11月に開催した総合戦略推進会議において、事業の進捗管理、検証を行うとともに、令和5年度事業の方向性について意見をいただいたことにより、今後の人口減少対策について、より具体的な方向性が決まりました。 また、KPIの達成につなげるため、あらたに地方創生推進交付金及び離島活性化交付金を活用することができました。	
	評価記号	○
今後の展開	引き続き総合戦略推進会議で事業の進捗管理、検証を行うとともに、事業の方向性について意見をいただくことで人口減少対策を着実に実施します。 また、KPI達成のために各種交付金を活用し、事業を推進します。	

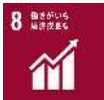
令和 4 年度しまづくり推進部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	全項目											
	最優先課題	全項目											
項 目		SDGsの推進											
取組の内容		SDGsの視点で環境・社会・経済の総合的な施策展開を促し、持続可能なしまづくりの推進に寄与します。令和4年度においては、SDGsアクションプランを策定し、プランに基づいて各主体が自主的・自発的に行動する仕組みづくりを行います。											
指標（数値目標）		1. SDGsアクションプラン策定 2.各主体が自主的・自発的に行動する仕組みづくり： 2-1. SDGsアクションプラン普及啓発物の作成 2-2. 気軽に集まり対話する「SDGsカフェ」…毎回20名程度の参加 2-3. 多様な主体・情報等を結びつける「SDGs推進プラットフォーム」…個人・NPO・企業等100人（団体）の参画 2-4. 各主体の行動宣言を登録する「SDGsパートナー登録制度」…個人・NPO・企業等100人（団体）の登録											
SDGs指標									達成時期			令和5年3月	
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. アクションプラン策定													
2-1. 普及啓発物の作成													
2-2. SDGsカフェ													
2-3. SDGs推進プラットフォーム													
2-4. SDGsパートナー登録制度													

課名等	SDGs推進室	全体	7
		個別	02-02

指標 に 対 す る 実 績	1. アクションプラン策定（6月末） 2-1. アクションプラン概要版作成、HP掲載 2-2. 10月よりSDGsカフェを毎月17日に開催。延120名程度の参加 2-3及び2-4. 対馬SDGsプラットフォーム設置要綱と対馬SDGsパートナーズ登録制度実施要綱を施行（9月末）。令和4年度中、44者を登録
評 価	2-1. アクションプラン概要版作成について、紙版を印刷したものの、配布が一部にとどまり十分でない 2-3. 対馬SDGsプラットフォームについて構築と運用は未実施 2-4. 対馬SDGsパートナー登録制度について、周知が十分でなく、目標値を大幅に下回った 以上のとおり、数値目標に対し、達成状況は一部十分でなかったものの、概ね組織目標どおり取組を遂行することができました。
	評価記号 ○
今 後 の 展 開	令和5年度では、SDGsカフェ、SDGsパートナーズ登録制度、SDGsプラットフォーム、対馬グローバル大学等、個別施策を有機的・相乗的に展開しながら、関係主体がSDGsを自主的・自発的に行動できる仕組みづくりを強化します。

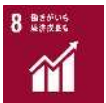
令和 4 年度しまづくり推進部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	事業を継承・拡大して雇用を創出する											
項 目		企業版ふるさと納税の活用											
取組の内容		自治体の地方創生プロジェクトに対して企業からの寄附を募る企業版ふるさと納税制度の運用を開始し、本市と関係のある企業を中心として、積極的な制度活用の周知を行います。											
指標（数値目標）		○制度の周知（通年） ・市ホームページ、内閣府ポータルサイトへの情報掲載 ○制度周知のための企業訪問 ： 5件 ○企業からの寄附の受入 ： 3件以上											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度周知・企業訪問等													
寄附の受入													

課名等	しまの力創生課	全体	8
		個別	02-03

指標に対する実績	・市ホームページにおいて制度情報をはじめ寄附事業者及び寄附金活用事業を掲載し、周知を図りました。また、制度周知のための企業訪問については、目標5件に対し、関西経済同友会への周知及び依頼をはじめ前年度寄附事業者等への継続依頼も含め5件の訪問を実施しました。 ・企業からの寄附件数は目標3件以上に対し、8件（7社）、寄附金合計額15,527,597円となりました。	
評価	過去に寄附をいただいた企業や関東の企業からの寄附があり、目標数値を大幅に達成することができました。	
	評価記号	◎
今後の展開	引き続き、企業へのPR活動等を実施するとともに、市として、企業版ふるさと納税制度の積極的な活用を図ります。	

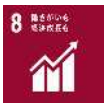
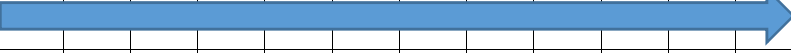
令和 4 年度しまづくり推進部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	事業を承継・拡大して雇用を創出する											
項 目		様々な機関や業種団体と連携した産業の振興											
取組の内容		事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業や事業の拡大を行う方を多方面から総合的に支援します。 島内の産業に必要な人材確保に向けて人材育成を推進し、さらに有人国境離島法に基づく雇用機会拡充支援事業補助金も活用しながら雇用を伴う事業拡大や民間事業者による創業を支援します。											
指標（数値目標）		○ワンストップ相談窓口等での相談件数 : 100件 ○創業の目標件数 : 7件 ○被雇用者の増加目標人数 : 30人											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワンストップ相談窓口の相談受付													
補助金説明、事業支援セミナーの開催													

課名等	しまの力創生課	全体	9
		個別	02-04

指標 に 対 す る 実 績	相談件数は58件、創業件数は3件、雇用機会拡充支援事業により74人の雇用を確保することができました。	
評 価	相談件数、創業件数の目標値を達成することはできませんでしたが、雇用数につきましては一定の数値を残すことができました。	
	評価記号	○
今 後 の 展 開	引き続きワンストップ相談窓口の積極的な利用を図り、創業等の掘り起こしや相談者への丁寧な説明を実施し、各関係機関と連携しながら、創業等への支援を行っていきます。	

令和 4 年度しまづくり推進部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり											
	最優先課題	みんなが活躍する仕組みを創る											
項 目		U・Iターン推進事業											
取組の内容		○対馬市内にて高卒予定者と市内企業をつなげる相談会や、福岡市や大都市圏で開催される移住相談会に参加するとともに、ホームページ等による情報発信を行います。 ○お試し住宅及び定住支援住宅の運用や、空き家バンク登録への啓発を強化し、移住者用の住宅を確保します。											
指標（数値目標）		○移住にかかる相談対応件数 350件 ○移住者数 150名 ○空き家バンク新規登録件数 15件											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
しまぐらし応援室によるサポート													
移住・定住支援補助金													
お試し住宅、定住支援住宅の運用、空き家バンク登録の周知													
合同企業就職説明会等の開催													
各種相談会等への参加、情報発信													

課名等	地域づくり課	全体	10
		個別	02-05

指標 に対する 実績	・移住に係る相談件数470件で移住者は126名となりました。 ・空き家バンク新規登録件数は12件、新規成約は15件で、現在の登録件数は14件となっております。	
評価	相談対応件数の目標値は上回りましたが、移住者数及び空き家バンク新規登録件数の目標値につきましては、一定の数値を残したものの達成できませんでした。	
今後の展開	評価記号	○
引き続き、U・Iターン推進事業として、お仕事説明会、対馬ぐらしフェアを実施することで、移住・定住促進に取り組めます。		

令和 4 年度 観光交流商工部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり												
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確認する												
項 目		Wコロナ・Aコロナにおける観光客受入体制の整備												
取組の内容		「団体旅行から個人旅行へ」又「量から質を求める旅」の変化に対応するため、対馬来訪者一人一人の観光の質を高め、観光消費額の増加、観光満足度の向上を目指した受入体制を整備します。												
指標（数値目標）		○おもてなし協議会による観光事業者の受入体制強化 （事業者によるおもてなし事業展開件数：30件） ○ガイド養成事業による「まちあるきガイド」の養成 （観光ガイドの会「やんこも」入会者数：5名） ○SDGsと絡めた教育旅行の誘致 （誘致実施による延宿泊数：540泊）												
SDGs指標		  			達成時期			令和5年3月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
おもてなし協議会による受入体制強化														
ガイド養成事業による「まちあるきガイド」養成														
SDGsを中心とした教育旅行誘致														

課名等	観光商工課	全体	11
		個別	03-01

指標 に対する 実績	○観光事業者の受入体制強化（事業展開件数） ・事業者間のワークショップ 63件 ・ビジネスプロフィールセミナー 17件 ○「まちあるきガイド」の養成 ・観光ガイドの会「やんこも」入会者数：0名 ・インタープリターの育成 3名 ○教育旅行の誘致 ・誘致実施による延宿泊数：917人泊		
評価 価	宿泊、飲食及び交通関係の事業者に対するワークショップ及びセミナーを開催することで、事業者間の連携及び誘客に対する意識が高まりました。 観光ガイドの会「やんこも」が本年度末で解散したものの「インタープリター」を育成したことで、量から質を求める旅に対応した受入体制の強化につながりました。 また、教育旅行は、私立高校2校の誘致に成功しました。		
	評価記号	○	
今後の展開	観光のニーズは多様化しており、単なる物見遊山から金田城などの歴史や自然、トレッキング、食など複数のコンテンツを組み合わせた量から質へ、そして満足度の高い持続可能な観光への転換により、「観光消費額の増加」「観光満足度の向上」による目標を掲げ、対馬来訪者1人1人の観光の質を高めていきます。		

令和 4 年度 観光交流商工部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	多様な主体によるしまづくりを推進する											
項 目		国内外の交流の促進											
取組の内容		①朝鮮通信使歴史館を活用します。 ②新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、可能な国際交流事業の実施や国際交流イベントへの支援を行います。 ③国際交流・国際理解に関する市民対象の情報提供等を行います。											
指標（数値目標）		①市内の全小中学校に利用を呼びかけ、3校以上の利用を達成します。 ②島内3高校に呼びかけ、文化体験事業を3校で実施します。 ③韓国情報誌「つしま__しまいの__まがじん」を5回発行します。											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
朝鮮通信使歴史館の活用													
国際交流事業・イベント支援													
国際交流・国際理解に関する情報提供													

課名等	文化交流課	全体	12
		個別	03-02

指標 に 対 す る 実 績	①市内の小中学校の利用：6校 ②文化体験事業の実施：3高校 ③韓国情報誌の発行：3回	
評 価	市内の学校を対象にした事業は、学校側の協力を得ることができ順調に実施することができましたが、韓国情報誌の発行については、令和4年度着任予定の国際交流員が着任辞退したことにより目標を達成できませんでした。	
	評価記号	○
今 後 の 展 開	朝鮮通信使歴史館の入館者を増やす取り組みを実施するとともに、航路の再開により国際交流事業を実施します。	

令和 4 年度 観光交流商工部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	貴重な資産・資源を継承・活用する											
項 目		教育普及活動（ワークショップ等の開催）											
取組の内容		4月30日に開館した対馬博物館の島内における認知度を向上させるために、幅広い年代の市民方々に一度足を運んでいただくため様々な分野での講演会、ワークショップ、企画展等を開催します。											
指標（数値目標）		・自然史トークイベント 1回／30人 ・写真（パネル）展 2回／4,000人 ・ダンスワークショップ 1回／30人 ・お菓子作りワークショップ 1回／30人											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自然史トークイベント					■								
自然史写真（パネル）展					→								
発掘された日本列島展（写真パネル展）												→	
ダンスワークショップ									■				
お菓子作りワークショップ												■	

課名等	博物館学芸課	全体	13
		個別	03-03

指標 に 対 す る 実 績	・自然史トークイベント 1回／22人 ・写真（パネル）展 2回／7,700人 ・ダンスワークショップ 1回／250人 ・お菓子作りワークショップ 1回／41人	
評 価	SNS、チラシ、公式WEBサイトでの告知、館内での案内を徹底したことで、ほぼ全てにおいて、数値目標を上回る応募と参加を得ることができました。 また、自然史トークイベントは、野外観察・標本作製を行う中で解説のため、併せてワークショップも実施しました。	
	評価記号	◎
今 後 の 展 開	引き続き、色々な分野を開拓しながら、ワークショップなどのイベントや展覧会を実施します。	

令和 4 年度 観光交流商工部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する											
項 目		よりあい処つしまを核とした観光・物産情報の受発信											
取組の内容		福岡市に所在する対馬のアンテナショップ「よりあい処つしま」からの対馬の観光・物産情報を発信するとともに、対馬の観光・物産をテーマとするラジオ番組の放送、対馬に関心がある方を対象とする「対馬島”窓会（どうそうかい）」を開催します。また、旅行会社への訪問やメール配信で対馬の観光情報を定期的に提供します。											
指標（数値目標）		・「よりあい処つしま」のメディア掲載数：年間6回 ・ラジオ放送の実施：年1回 ・対馬島”窓会の開催：年1回（参加者数50名） ・旅行会社への訪問：年間延べ60社 ・旅行会社へのメール配信：年間24回											
SDGs指標		 						達成時期			令和5年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「よりあい処つしま」からの情報発信													
ラジオ放送													
対馬島”窓会													
旅行会社の訪問、メール配信													

課名等	福岡事務所	全体	14
		個別	03-04

指標に対する実績	・「よりあい処つしま」のメディア掲載数：１１回（テレビ３回、ラジオ７回、情報誌１回） ・ラジオ放送の実施：１回 ・対馬島”窓会の開催：１回※オンライン開催（参加者数２０名） ・旅行会社への訪問：延べ６４社 ・旅行会社へのメール配信：６回	
評価	「よりあい処つしま」のメディア掲載は、地方創生臨時交付金により、目標を大きく上回りました。対馬島”窓会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、オンライン開催に変更しましたが、新たな情報発信策としてイベントの動画を配信し８５５回の視聴がありました。また、旅行社へのメール配信は、配信時期や内容の計画を作成していなかったことにより、目標を大きく下回りました。	
	評価記号	○
今後の展開	引き続き、よりあい処つしまを核とした情報発信を様々な方法で展開し、対馬への誘客に取り組みます。	

令和 4 年度 市民生活部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		窓口サービスの質の向上											
取組の内容		市民の皆様にわかりやすく、丁寧で正確な窓口を追求します。専門知識の習得のため常に自己研鑽を重ね、サービスの向上につなげます。市役所の総合窓口として、担当部署への案内を的確に行うために業務・事業の把握、連携・情報共有を行います。											
指標（数値目標）		①専門知識の向上のための定例ミーティングの実施 毎週1回 ②情報共有等のための随時ミーティングの実施 事案発生の都度											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
課内ミーティング（定例）													
課内ミーティング（随時）													

課名等	市民課	全体	15
		個別	04-01

指標に対する実績	①は数値目標を達成しました。 ②は目標通り課内での協議や情報共有が必要な事案発生の際に随時ミーティングを実施しました。また事案発生を防ぐために、窓口においての課題についても随時ミーティングを実施しました。	
評価	週1回の定例ミーティング、随時ミーティングを実施したことで情報の共有と問題の検証をして必要な改善を行い、市民の方へのサービスの向上につなげることができました。	
	評価記号	○
今後の展開	引き続きミーティングを重ねることでスキルアップを図り、より一層市民の方へのサービス向上につなげます。	

令和 4 年度 市民生活部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		徴収率の向上											
取組の内容		徴収率を向上させるため、まずは、滞納者に対し電話や文書による催告を実施します。また、催告に応じない滞納者に対し、財産調査を実施し、差押による換価の実施及び滞納処分の停止による効果的な滞納整理を実施します。											
指標（数値目標）		・目標徴収率 市税 現年分 96.50% 前年度実績 96.05% 滞納分 15.00% 前年度実績 11.70% 国保税 現年分 94.00% 前年度実績 93.40% 滞納分 13.00% 前年度実績 11.92%											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電話・文書による催告及び相談案内													
月例徴収会議													
夜間窓口、休日窓口													
財産調査、差押													

課名等	税務課	全体	16
		個別	04-02

指標に対する実績	令和5年3月末現在徴収率 市税 現年分 96.38% (△0.12%) 滞納分 8.22% (△6.78%) 国保税 現年分 93.60% (△0.40%) 滞納分 10.65% (△2.35%)	
評価	夜間窓口を年12回、休日窓口は年11回、財産調査は年2回（過年度滞納者は随時実施）実施し、徴収強化月間（電話・臨戸等）として年6回の取組みましたが、市税、国保税とも前年度実績は上回りましたが、目標徴収率は下回り目標達成できませんでした。	
	評価記号	△
今後の展開	徴収率は上昇傾向にあるため、引き続き財産調査をおこない、差押による滞納処分を強化し、文書・電話催告により接触、実態把握をおこない、引き続き新たな滞納者の発生抑制の取組みを実施します。	

令和 4 年度 市民生活部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	環境負荷の低い暮らしを営む											
項 目		ごみのリサイクル推進と環境意識の向上											
取組の内容		①生ごみの分別回収によるごみ量の削減を行います。 ②生ごみを堆肥として再利用できる堆肥化事業に取り組みます。 ③生ごみ回収協力世帯の募集及び事業内容の周知を行います。											
指標（数値目標）		①生ごみの回収量目標 3 5 5 t 以上 ②生ごみの堆肥化目標 4 5 t 以上 ③生ごみ回収事業への協力世帯数目標 2, 2 5 0 世帯											
SDGs指標		 						達成時期		令和 5 年 3 月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生ごみの分別回収及び堆肥化													
生ごみ回収協力世帯の募集及び事業内容の周知													

課名等	環境政策課	全体	17
		個別	04-03

指標 に 対 す る 実 績	①生ごみの回収量 3 3 8 t（ごみの減量化） ②生ごみの堆肥化 3 1 t（ごみの資源化） ③生ごみ回収事業への協力世帯数 2, 2 0 7 世帯	
評 価	生ごみ回収事業について、加入世帯に対し週 2 回の回収を実施し、3 3 8 t を回収、3 1 t の堆肥の製造によりごみの減量化と資源化に繋げることができました。しかし、目標としていた回収量、堆肥化量及び協力世帯数を達成することは出来ませんでした。	
	評価記号	△
今 後 の 展 開	引き続き、生ごみ等の分別回収と堆肥化、堆肥の無償配布に取り組みながら、協力世帯数の増加に向けてCATVと広報を用いた周知活動を行います。 また、当事業の課題である若年層の加入率を上げるため、若年層をターゲットにした周知方法に見直します。	

令和 4 年度 市民生活部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	環境負荷の低い暮らしを営む											
項 目		漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策の推進											
取組の内容		・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な回収と処理を実施します。 ・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。（日韓市民ビーチクリーンアップ事業等）											
指標（数値目標）		・前年度の回収・処理を参考に、漂着ごみの計画的な回収を実施します。（回収・処理予定数量：トン袋で7, 0 0 0袋） ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業を実施します。											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
漂着ごみ回収・処理の実施													
環境学習の実施													
日韓市民ビーチクリーンアップ事業の開催													

課名等	環境政策課	全体	18
		個別	04-04

指標に対する実績	・漂着ごみの回収量 トン袋で8, 989袋 ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業については、ワークショップのみ実施しました。		
評価価	漂着ごみの回収については、長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用して実施し、海岸環境や景観に対し一定の成果が得られました。 日韓市民ビーチクリーンアップ事業については、コロナ禍により海岸清掃は実施することができませんでしたが、オンラインによるワークショップを開催し意見交換することができました。		
	評価記号	○	
今後の展開	引き続き、国・県に財政支援を要望し、継続的な漂着ごみの回収に取り組みます。 また、発生抑制対策の観点から日韓市民ビーチクリーンアップ事業を開催し普及・啓発に取り組みます。		

令和 4 年度

市民生活部

組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外
	最優先課題	対象外
項 目		窓口サービスの向上、税の徴収率向上及び水道料金の収納率向上
取組の内容		①窓口サービスの向上のため、常に自己研鑽を重ねることで幅広い知識を身に付け、苦情件数ゼロを実現します。 ②滞納者との接触の機会を増やし、税負担の公平性の観点から適正かつ迅速な財産調査等を実施し、滞納整理を進めます。（夜間窓口年12回実施） ③年3回の徴収強化期間を設定し、滞納額の縮減に取り組みます。
指標（数値目標）		①窓口サービス向上の取組 ・情報共有の促進のため毎週1回センター内会議実施 ②税徴収率 現年分徴収率 92.50%（令和4年3月末91.42%） 滞納分徴収率 7.94%（令和4年3月末10.03%） ③水道料収納率 現年分収納率 97.81% 滞納分収納率 36.21%以上
SDGs指標		  達成時期 令和5年3月
取組とスケジュール		4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
センター内会議		
納税相談・臨戸徴収		
夜間窓口		
徴収強化月間		7月 8月 11月 12月 2月 3月

課名等	美津島行政サービスセンター	全体	19
		個別	04-05

指標 に 対 す る 実 績	①全体での会議は実施できませんでした。 ②税徴収率 現年分徴収率 92.50%（0.50%） 滞納分徴収率 7.94%（△3.06%） ③水道料収納率 現年分収納率 97.81%（0.11%） 滞納分収納率 36.21%（△1.21%）
評 価	①当センターの業務上（ワンフロアの窓口で朝夕の業務時間外にも来客がある状況）、職員全体での定期的な会議は実施できませんでした。 ②滞納分の徴収率は目標数値をクリアできませんでしたが、現年分と滞納分の合計では前年度を上回りました。 ③滞納者との接触機会の増や給水停止の実施等により数値目標をクリアしました。
	評価記号 △
今 後 の 展 開	センター内での情報共有や窓口対応における問題点の洗い出しのため、業務グループごとの代表者による定期的なミーティングを実施します。 水道料金の収納率向上のため、今後も給水停止等の厳しい措置を実行します。

令和 4 年度 福祉保険部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	福祉と医療の体制を整える											
項 目		高齢者の生きがいの創出											
取組の内容		高齢者の豊かな経験・知識や技能を生かせる臨時的・短期的な就業の場を提供することで「生きがい」の確保や高齢者の能力を大いに発揮できる活力ある地域社会づくりのために、会員の確保及び業務の拡大により、年間就業延人日数4,700人日を達成します。											
指標（数値目標）		・シルバー人材センターの一般社団法人設立 ・会員 170人 ・年間就業延人日数 4,700人日											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員募集の周知、拡大													
業務内容の市民への周知													
関係者会議の開催													
一般社団法人設立総会													

課名等	福祉課	全体	20
		個別	05-01

指標 に対する 実績	○一般社団法人対馬市シルバー人材センター設立（令和5年3月1日） ○会員数及び年間就業延人日数 令和2年度 162人 4,322人 令和3年度 168人 4,509人 令和4年度 179人 4,231人	
評価	一般社団法人対馬市シルバー人材センターを令和5年3月1日に設立しました。 シルバー人材センターの会員増加は目標以上となりましたが、年間就業延人日数は、夏期に猛暑が続いたため、会員の体調を考慮し、屋外作業の受託を制限したことが大きく影響し、目標には届きませんでした。	
	評価記号	△
今後の展開	令和5年3月1日、一般社団法人シルバー人材センターの設立に伴い、各拠点を中心として、更なる会員の拡大を図り、業務量の拡大につなげていきます。 ※令和5年4月1日の機構の改革に伴い、シルバー人材センターの担当課は、長寿介護課へ移行しました。	

令和 4 年度

福祉保険部

組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		あらゆる貧困の解消											
取組の内容		心豊かに安心して子育てできる環境を整えるため、次の形態の貧困解消に取り組めます。 ①地域コミュニティ貧困 →ファミリーサポートセンター事業の充実 ②マンパワー貧困 →保育事業及び放課後児童クラブ事業等の整備 ③危険防止の視点貧困 →保育施設等にかかる安全点検の徹底											
指標（数値目標）		①広報つしま等の活用による依頼会員の30人登録と利用件数200件 ②民間事業所とのタイアップによる待機児童ゼロ ③保育施設11か所等の点検による事故件数ゼロ											
SDGs指標		  			達成時期			令和5年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① ファミリーサポート事業													
②（仮）豊玉認定こども園建設 （達成時期：令和5年度末）													
② 放課後児童クラブ現地調査・対策													
③ 保育施設等の危険点検調査と対応													

課名等	こども未来課	全体	21
		個別	05-02

指標 に 対 す る 実 績	①依頼会員30人登録、利用件数126件 ②待機児童数 ・保育所 14人（0歳児のみ） ・放課後児童クラブ 0人 ③事故件数 0件	
評 価	①市ホームページをわかりやすくリニューアルし、CATV及び広報により周知を徹底しました。また、島内全小学校を訪問し、事業説明を行いました。 ②放課後児童クラブの待機児童は、施設拡充により解消できましたが、保育所については、入所希望施設の保育士不足により待機児童が発生しました。 ③点検結果により35件の修繕を実施し、事故の未然防止につなげました。	
	評価記号	△
今 後 の 展 開	ファミリーサポートセンター事業については、コロナ収束による利用者増を見込み、支援体制を強化します。 また、こども園開設に向けては、建設・運営両部門において慎重に進め、誰でも喜んでいただけるこども園の実現に注力します。	

令和 4 年度

福祉保険部

組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		生活困窮者の自立支援及び適正な保護決定・実施											
取組の内容		①生活困窮者の自立支援を行います。 ②適正な保護の決定に取り組みます。 ③保護費の適正な処理を行います。											
指標（数値目標）		①他課や関係機関と連携し、相談・訪問等を随時行います。 ②情報共有、意識統一を図るため月1回課内会議を行います。 ③課税調査は、6月から7月にかけて実施し、8月分までの保護費に反映させるよう処理を行います。また、調査の結果、生活保護法第78条（不正受給に係る返還金）の処理を行う場合は、年度内に完了します。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活困窮者自立支援の相談・訪問													
情報共有・意識統一・課内会議													
課税調査													
課税調査の法第78条処理													

課名等	保護課	全体	22
		個別	05-03

指標に対する実績	①生活困窮者に対する自立支援のため相談者実人員170人に対し延べ320件の訪問及び面談を実施しました。 ②月1回（25日定例）の課内会議にて、ケースの問題点の共有や県の監査指摘の周知と改善について全職員に共通認識を図ることができました。 ③年内の処理は実行できませんでしたが年度内にはすべて反映させ、また課税調査で判明した10件について返還決定し返還計画等の処理を完了しました。	
	生活困窮者及び被保護者に対し、定期訪問や面談を通して生活実態を把握をすることで、他法を活用した支援を行い、また、業務改善により削減された訪問の時間を関係機関が開催する会議での情報共有及び課税調査を保護費に全ケース反映でき適法適正に基づいた保護費の支給につながりました。	
評価	評価記号 ○	
	引き続き、課内の全職員の意思統一を図るとともに関係機関と連携協議を行い迅速な対応と適正処理を実施することで生活困窮者や被保護者の最低生活の維持と自立を支援します。	
今後の展開		

令和 4 年度 福祉保険部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療の体制を整える											
項 目		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施											
取組の内容		後期高齢者の健康の保持増進のため、3圏域で健診・医療・介護状況等のデータを把握分析し、関係部署と連携により圏域内の課題や支援対象者に応じた集団的支援と個別的支援に取り組みます。											
指標（数値目標）		・個別的支援（ハイリスクアプローチ） 各圏域支援実施者数を1人以上支援します。 ・通いの場等への関与等（ポピュレーションアプローチ） 北地区2か所以上 中地区1か所以上 南地区2か所以上											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連携会議・検討担当者会議													
実施計画書作成・データ分析													
保健指導等の実践													
事業の評価													

課名等	保険課	全体	23
		個別	05-04

指標 に 対 す る 実 績	・個別的支援（ハイリスクアプローチ） 北地区17人、中地区16人、南地区33人支援をしました。 ・通いの場等への関与等（ポピュレーションアプローチ） 北地区2か所、中地区2か所、南地区2か所支援をしました。	
評 価	実績が向上していることは、行政側のアプローチに対する市民の理解が得られるようになったことが大きな要因と考えられます。事業実施をしている保健部署に所属する保健師・栄養士の地道な活動によるものであり、大きく評価できます。	
	評価記号	○
今 後 の 展 開	引き続き、高齢者の健康の保持増進のため、関係部署と連携を図り、地区ごとの課題や支援対象者に応じた集団的支援と個別的支援に取り組みます。	

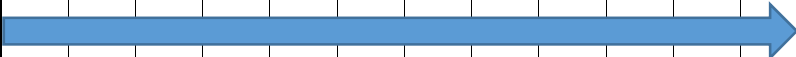
令和 4 年度 健康づくり推進部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療の体制を整える											
項 目		特定健診の受診率向上											
取組の内容		第3期特定健診等実施計画に基づき、広報つしまとCATV、健診推進員等の臨戸訪問及び電話による受診勧奨を徹底し、健診受診率の向上に取り組む、健康寿命の延伸につなげます。											
指標（数値目標）		①特定健診の受診率45%を達成します。 ②特定保健指導の実施率55%を達成します。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報つしまとCATV文字放送による受診勧奨													
健診推進員等による受診勧奨及びキャンペーンの実施													
集団型健診実施													
個別型健診・節目型健診実施													
特定保健指導実施													

課名等	いきいき健康課	全体	24
		個別	06-01

指標 に 対 す る 実 績	・特定健診受診率 39.9%（令和5年3月末時点 暫定値） ・特定保健指導実施率 81.9%（初回指導の実施率） 36.6%（指導終了までの実施率） ※ 令和5年3月末現在も指導継続中。		
評 価	・新型コロナの感染拡大の影響により健診受診者数が激減したため、健診受診率の目標達成には至りませんでした。また、保健指導についても、面談による指導を控えた期間が発生し、十分な実施ができませんでした。 ・令和4年度から新たに取組んだ『早期受診キャンペーン』が、健診期間前半の受診率向上に効果的であることが確認できました。		
		評価記号	△
今 後 の 展 開	令和4年度の実施内容を継続を基本とし、かかりつけ医から特定健診の受診を勧める声掛けをしていただくなど、医療機関との連携を強化して受診率を向上させます。		

令和 4 年度 健康づくり推進部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	福祉と医療の体制を整える											
項 目		認知症に関する知識や介護方法の周知・啓発											
取組の内容		認知症への理解を深めるための事業を実施し、認知症の方がその家族とともに、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることができる社会の実現に取り組みます。											
指標（数値目標）		①認知症サポーター養成講座開催 受講者数⇒50名 ②認知症に関する知識の啓発（CATV）⇒1回 ③認知症カフェ支援（職員派遣、助成金申請等）⇒通年											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認知症サポーター養成講座開催													
認知症に関する知識の啓発（CATV）													
認知症カフェ支援（職員派遣、助成金申請等）													

課名等	地域包括ケア推進課	全体	25
		個別	06-02

指標に対する実績	①認知症サポーター養成講座 受講者数 384名 ②認知症に関する知識の啓発（CATV） 2回 （おしえて市役所さん 9月、12月） ③認知症カフェ支援（職員派遣等） 67回	
評価	認知症サポーター養成講座実施や認知症カフェ設置は住民側からの発信によるものが増えてきており、市民の認知症に関する知識や理解が深まっていると考えられます。事業の効果が表れており、大きく評価できます。	
	評価記号	◎
今後の展開	引き続き、認知症に関する知識の周知・啓発を実施いたします。	

令和 4 年度 農林水産部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する											
項 目		対馬しいたけ振興事業											
取組の内容		対馬しいたけの生産農家としては、少雨や寒波など気象による不作や生産者の高齢化、担い手不足が課題となっていることから、しいたけ種駒補助事業を継続しつつ、作業の効率化を目的とした研修会の開催や担い手不足解消のための新規参入者の確保に向けた取組を行います。											
指標（数値目標）		○しいたけ生産推進 種駒補助 700万個 ○新規参入者向け研修会 2回											
SDGs指標		  			達成時期			令和5年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
しいたけ種駒補助													
新規参入者向け研修会等													

課名等	農林しいたけ課	全体	26
		個別	07-01

指標 に対する 実績	【種駒補助】 補助対象種駒数 3,356,600個(達成率：48%) 対象経費 6,305,500円(予算執行率：42%)	
	【研修会】 ・令和4年10月25日 生産者向け講習会開催 ・令和5年2月10日 上対馬支部支部会（連絡会）	
評価 価	大規模生産者が今年度の植菌を控えたため、大幅な購入数の減となりました。	
	評価記号	△
今後の展開	価格の低迷など、しいたけ農家を取り巻く環境はますます厳しいものとなっており、乾しいたけ品評会の開催も困難となりつつあることから、島内生産量の維持のため、種駒補助の条件を一部緩和し、補助対象者を拡大することで、新規参入者、高齢生産者への支援を行います。	

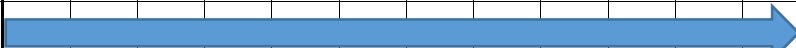
令和 4 年度 農林水産部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する											
項 目		学校給食地産地消推進											
取組の内容		学校給食において、対馬の特産品である原木栽培しいたけや対馬あか牛をはじめ、農林水産物やジビエとその加工品等の食材購入の一部を助成し、地産地消に寄与する。											
指標（数値目標）		第3次対馬市食育・地産地消推進計画（R4～R8）において定めたとおり、学校給食における対馬産の農林水産物を使用する割合（金額ベース）を15.0%以上に維持します。											
SDGs指標		 						達成時期		令和9年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校給食における地産地消推進													
意見交換会													

課名等	農林しいたけ課	全体	27
		個別	07-02

指標に対する実績	【使用割合】 実績：18.5% (令和4年度の対馬産食材購入費/食材購入費) 指標：15.0% (令和2年度の対馬産食材購入費/食材購入費)	
評価	各給食調理場で対馬産食材が積極的に使用され、指標を上回ることができました。 【補助】 島内 6 調理場：13,000,000円（執行率：100%） 【取扱品目】 購入費に対し補助率3/4の食材 (対馬産あか牛,クロマグロ,アナゴ,ジビエ) 購入費に対し補助率1/2の食材 (しいたけ,アスパラ,米,その他対馬産農林水産物)	
	評価記号	○
今後の展開	第3次対馬市食育・地産地消推進計画において定めた「学校給食において、対馬産の農林水産物を使用する割合(金額ベース)」を維持します。 ・令和6年3月：15.0% ・令和9年3月：15.0%	

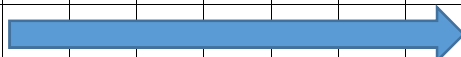
令和 4 年度 農林水産部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	豊かな自然環境を取り戻す											
項 目		生物多様性の保全											
取組の内容		・シカによる生態系被害対策（捕獲によるシカ個体数管理） ・有害鳥獣捕獲従事者数の増員 ・生物多様性の損失要因対策（ツマアカスズメバチ駆除） ・希少種（ツシマウラボシシジミ、ハナナズナ等）の保全活動											
指標（数値目標）		①鳥獣被害防止計画捕獲頭数 ツシマジカ6,000頭 イノシシ7,000頭 ②地区捕獲隊増加数 3地区 ③市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罠設置 1,000か所 ④ツシマウラボシシジミ保護区設置 1 か所 ⑤希少植物の分布・生育調査保護区設置 1 か所											
SDGs指標											達成時期 令和5年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有害鳥獣捕獲事業													
地区捕獲隊普及活動													
ツマアカトラップ設置													
ウラボシシジミ調査、保護区設置													
希少植物分布調査、保護区設置													

課名等	自然共生課	全体	28
		個別	07-03

指標に対する実績	①捕獲頭数 ツシマジカ10,478頭イノシシ2,852頭 ②地区捕獲隊増加数 2地区 ③市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罠設置 1,300か所 ④ツシマウラボシシジミ保護区設置 1エリア 3 か所 ⑤希少植物の分布・生育調査保護区設置 1エリア 3 か所	
評価価	ツシマジカは1万頭以上を捕獲し良好であるが、イノシシの生息数は減少したと推測され捕獲数は昨年度の33.9%に止まり、地区捕獲隊は2地区を組織したがイノシシの被害減少により指標より 1 地区減となりました。また、ツマアカスズメバチ捕獲罠設置数は市民の関心が低下傾向であったが3 0 0箇所を上積みし、ツシマウラボシシジミ保護区設置数、希少植物の保護区設置数はともに指標を上回った。	
	評価記号	○
今後の展開	有害鳥獣捕獲事業は生物多様性の確保、生活環境保全、農林水産業の発展のため捕獲頭数の向上に努め、地区捕獲隊普及活動は捕獲技術向上など活動の質を高めていく。また、引き続き外来種対策ツマアカスズメバチ駆除と希少動植物種の保護活動を実施する。	

令和 4 年度 農林水産部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する											
項 目		水産業者や漁村への支援											
取組の内容		漁業者の減少・高齢化、若年層の島外流出などにより、島の基幹産業である水産業は徐々に生産量が減少するとともに、後継者不足が深刻化しています。 漁村の賑わいを取り戻すために、地域漁業者、行政、漁協等が一体となって新規漁業者の育成・確保に向けた支援を行います。											
指標（数値目標）		C A T V（出演放送、文字放送）、広報つしま、公式ホームページを活用した周知広報を行い、併せて生活費を支援することで、新規就業者数を増やします。 新規漁業研修生の確保：8名											
SDGs指標		  			達成時期			令和5年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
漁業研修生の募集													
面接試験													
採用決定													
新規漁業研修生へ生活費支援													

課名等	水産課	全体	29
		個別	07-04

指標に対する実績	令和4年4月～5月にかけて、C A T V（出演放送、文字放送）、広報、公式ホームページを活用した周知広報を行い、新規就業者を7名（島外7名）確保しました。	
評価	目標値を達成できませんでしたが、島外から新規就業者が増加したことで漁業者若年層の増加にもつながり、管内漁協の活性化と既組合員にも刺激を与え、相乗効果をもたらしています。	
今後の展開	評価記号	△
	積極的に周知広報を実施し、多くの新規漁業研修生を確保します。	

令和 4 年度 農林水産部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	豊かな自然環境を取り戻す											
項 目		磯焼け対策の実施											
取組の内容		植食性動物による海藻類の食害が顕在化し、藻場が衰退しているため食害生物の駆除促進と有用資源としての活用に取り組みます。 ①漁業者や活動組織間の連携・情報共有による食害生物の駆除促進 ②島内定置網業者、漁協、対馬市水産加工連絡協議会等との連携による食害生物の利活用											
指標（数値目標）		①漁業者や活動組織間での意見交換会及び優良事例発表会の開催 ⇒年1回 ②定置網に入網した食害魚の島内水産加工業者への流通 ⇒15 t											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見交換会・優良事例発表会													
漁業集落・活動組織による食害生物駆除、岩盤清掃、海藻種苗投入													
食害魚の定置網による漁獲													
冷凍保存された食害魚の加工・販売													

課名等	水産課	全体	30
		個別	07-05

指標に対する実績	①漁業者や活動組織間での意見交換会及び優良事例発表会の開催 ⇒漁業者や活動組織との意見交換の場として、藻場再生作業部会を開催しました。（年1回） ②定置網に入網した食害魚の島内水産加工業者への流通 ⇒31.9 t	
評価	①藻場再生作業部会の開催のほか、磯焼け対策全国協議会への参加、他の市町との磯焼け対策に係る意見交換などで得られた有用な情報については、活動組織等へ共有し、食害生物の駆除促進につながりました。 ②目標を大幅に上回る数量の食害魚を島内水産加工業者に流通させることができ、新商品・レシピの開発や販路開拓、学校給食への提供の拡大など食害生物の利活用につながりました。	
	評価記号	◎
今後の展開	①引き続き、活動組織等による食害生物駆除などの活動を推進するとともに、多数の漁業者等が参加できる意見交換の場を設けることができるよう関係各所との調整を行います。 ②食害魚の島内流通の仕組みが自走できるように引き続き関係各所と連携し取り組みます。	

令和 4 年度 建設部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		市営住宅使用料未収金の縮小											
取組の内容		・対馬市営住宅家賃滞納整理事務要綱に基づき未収金を縮小します。 ①滞納者には、書面や電話による督促、連帯保証人への連絡、来庁要請を実施します。 ②確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを実施します。											
指標（数値目標）		・市営住宅使用料徴収率（現年分＋滞納分） 90.00%（R3年度実績 86.02%）※令和4年3月31日現在 （R2年度実績 86.95%） （R1年度実績 85.79%）											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
納付相談		→											
徴収率向上に向けた行動（臨戸訪問）		→											
関係部署との協議		→											

課名等	管理課	全体	31
		個別	08-01

指標に対する実績	○市営住宅使用料の徴収率（3月31日現在） 徴収率（現年分・滞納分） 85.72%	
評価	・未払い者に対し納付指導等を行い徴収率を向上させたものの、指標に達しなかった。	
今後の展開	評価記号	△
	・引き続き滞納者には年間を通しての書面督促、電話、臨戸訪問による納付指導を行い、確約書提出者には、債務不履行がないように指導します。	

令和 4 年度 建設部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり														
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する														
項 目		公共工事の早期発注、早期完成														
取組の内容		安心・安全なまちづくりを進めるため、公共工事を早期に発注し、早期完成のための施工管理を行います。														
指標（数値目標）		・ 12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 17件 181百万円 《100%目標》 ・ 12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 15件 1,196百万円 《100%目標》														
SDGs指標									達成時期		令和4年12月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
工事・業務の設計書作成																
工事・業務の施工管理及び完成																

課名等	建設課	全体	32
		個別	08-02

指標 に 対 す る 実 績	12月末設計書作成件数及び実施額 (測量・調査・設計) 11件 71百万円 (工事) 16件 1,161百万円	
評 価	工事は、達成時期までに予定件数を発注することが出来ました。また、業務は、予定件数に至りませんでした。また、地権者の同意が得られず発注できなかったもの、事業見直しにより減額したものであり、全体として目標は達成出来たと判断します。	
	評価記号	○
今 後 の 展 開	公共工事の早期着工は、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものであることから、今後におきましても早期発注を行います。	

令和 4 年度 建設部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり												
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する												
項 目		基盤整備工事の早期発注と早期完成												
取組の内容		農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、生産性の向上を目的とするものです。 その中で事業の早期着工・早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度も計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%及び工事の執行100%を達成します。												
指標（数値目標）		建設工事発注 予定額808.3百万円 予定件数 委託4件、工事16件 令和4年12月 委託業務完了予定額 100%目標（83.0百万円） 令和4年12月 委託業務完了予定件数 委託 4件 令和4年12月 工事執行予定額 100%目標（725.3百万円） 令和4年12月 工事執行予定件数 工事16件												
SDGs指標											達成時期		令和5年3月	
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
測量・調査・設計委託の設計書作成			→											
工事の設計書作成			→											
測量・調査・設計委託の管理及び完成				→										
工事の施工管理及び完成					→									

課名等	基盤整備課	全体	33
		個別	08-03

指標に対する実績	<table><tr><td>委託業務完了額</td><td>83.0百万円に対し、46.8百万円</td><td>56.4%</td></tr><tr><td>委託業務完了件数</td><td>4件に対し、6件</td><td>150%</td></tr><tr><td>工事執行額</td><td>725.3百万円に対し、786.2百万円</td><td>108.4%</td></tr><tr><td>工事執行件数</td><td>16件に対し、16件</td><td>100%</td></tr></table> 国の早着認可制度等を活用し事業を進めましたが、新規着手工種の許認可事務、測量、調査及び設計等の委託業務や地元協議に時間を要した事により、委託業務については年内完了目標額に到達できませんでした。			委託業務完了額	83.0百万円に対し、46.8百万円	56.4%	委託業務完了件数	4件に対し、6件	150%	工事執行額	725.3百万円に対し、786.2百万円	108.4%	工事執行件数	16件に対し、16件	100%
委託業務完了額	83.0百万円に対し、46.8百万円	56.4%													
委託業務完了件数	4件に対し、6件	150%													
工事執行額	725.3百万円に対し、786.2百万円	108.4%													
工事執行件数	16件に対し、16件	100%													
評価	漁港事業については、委託業務の調査及び設計協議に日数を要し進捗が遅れました。また、台風による災害が7件発生したことや国の追加補正により委託及び工事発注件数が増となり、年度後半にかけて事業進捗に向けた取り組みを行っています。農林道事業については、委託業務が市内全域におよぶ施設点検であったことから調査に時間を要し進捗が遅れましたが、工事においては当初予定工事のほか、豪雨に伴う治山事業が3件発生しましたが、迅速に対応し目標を達成することができました。														
	評価記号	○													
今後の展開	新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を達成します。 また、地元要望に迅速に対応するため、関係者と連携を取りながら適切かつ有効な事業計画の立案を行います。														

令和 4 年度 建設 部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		公共工事の早期発注、早期完成											
取組の内容		地域経済の活性化と島内交通の利便性向上に資するため、公共工事を12月末までに発注し、年度内完成に取り組みます。											
指標（数値目標）		令和4年度12月末発注件数及び予定額 委託 9件 137百万円（100%目標） 工事 17件 429百万円（100%目標）											
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
測量・調査・設計委託の設計書作成													
本工事関係設計書作成													

課名等	北部建設事務所	全体	34
		個別	08-04

指標に対する実績	令和4年度12月末までの発注件数、発注額、発注率実績 委託 14件 125百万円（155%） 工事 16件 360百万円（94%） 橋梁補修設計委託等5件が増となっています。	
評価	組織目標に掲げた12月末までの発注件数は目標100%を達成できましたが、工事1件が1月発注となりましたが、繰越工事と重なったためであり、概ね達成出来ました。	
	評価記号	○
今後の展開	公共工事の早期発注については、目標を達成出来ましたが、繰越件数が多いことから、今後繰越件数を減らします。	

令和 4 年度 水道局（部） 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		水道料金の収納率の向上											
取組の内容		水道事業経営戦略プランに基づく水の安全の確保と安定供給を維持するためには、水道経営の効率化などによる健全な事業運営を確立することが必須で、受益者負担の原則からも水道料金の収納率向上は基本的課題であり、引き続き新規滞納者の発生予防、納付確約（分納）の取り組み強化、給水停止措置を行い、収納率を向上させます。											
指標（数値目標）		令和4年度の収納率（現年度分）97.70％を達成します。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
納付勧奨（督促・催告）													
給水停止措置													

課名等	水道課	全体	35
		個別	09-01

指標 に対する 実績	目標 97.70％ 実績 97.88％ 対目標比 0.18％	
評価 価	水道料金滞納者に対し、定期的に督促及び催告を実施しました。また、給水停止等の措置も講じたことにより、前年度を0.20％上回ることができ、目標を0.18％上回り達成することができました。	
	評価記号	○
今後の展開	今後も、水道料金滞納者に対しての督促、催告等の納付指導を継続して行います。また、長期（3か月以上）の滞納者に対しては、給水停止等の措置を強化し、納付意識を高揚させます。	

令和 4 年度 水道局（部） 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		水道事業の有収率の向上											
取組の内容		水道事業経営戦略プランに基づく水の安全の確保と安定供給を維持するためには、有収率（浄水場で作られた水量と実際に家庭等の蛇口から出て使われた水量の割合）向上対策は、重要課題であり、今後も年次的に施設の更新と配水管等の漏水対策を行います。											
指標（数値目標）		令和4年度の有収率は、72.50%を達成します。 （水道事業経営戦略プラン目標値 令和3年度有収率：70.00% 令和8年度有収率：73.00%）											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
漏水調査及び修理													
老朽施設の更新													

課名等	水道課	全体	36
		個別	09-02

指標 に 対 す る 実 績	有収率	
	目標	72.50%
	実績	71.54%
	対目標比	▲0.96%
	(年度比較)	
	令和4年度	71.54%
	令和3年度	71.28%
	対前年度比	0.26%
評 価	配水管等の漏水調査の実施及び漏水箇所の早期修繕対応などを行いました。前年度を0.26%上回りましたが、目標に対しては0.96%下回ることでとなりました。	
	なお、目標を下回った原因は、10年に一度の大寒波による給水管等の破裂に伴う漏水が主な原因です。	
	評価記号	△
今 後 の 展 開	目標値を上回れるよう、有収率の低い地区を重点的に漏水調査を行い漏水修理、水道施設の更新等の対策を行い、有収率を向上させます。	

令和 4 年度 中対馬振興部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する											
項 目		中対馬未来づくりアクションプランの推進											
取組の内容		地域資源や観光・産業の課題を踏まえたうえで、新たな価値創造のためリトリート（癒やし）とアクティビティ（体験）の創出による観光客をきっかけとした活性化・地域振興に向け、新たな観光PR事業として主要観光地のライトアップ事業を実施するとともに交通広告や観光冊子の製作により知名度アップに取り組みます。											
指標（数値目標）		- 観光PR事業：主要観光地（海神神社、和多都美神社）ライトアップ 交通広告の活用、観光冊子の製作 - ご当地スイーツ開発：2品目の試作品完成 - 青海の花畑スポット整備：果樹、花等の植栽 - シーカヤック、SUPインストラクター養成事業：新規5人											
SDGs指標		  			達成時期		令和5年3月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光PR事業（ライトアップ）													
観光PR事業（広告・観光冊子）													
ご当地スイーツ開発													
青海の花畑スポット整備													
シーカヤック、SUPインストラクター養成事業													

課名等	地域振興課	全体	37
		個別	10-01

指標 に 対 す る 実 績	・観光PR事業のうち、ライトアップについては、場所を変更し、神話の里自然公園内でコテージのオープンに併せて実施しました。また、交通広告は西鉄天神駅ほかで実施し、観光冊子も製作し活用しています。 ・ご当地スイーツは、対馬の伝統食材「せん」を使った「せんちまき」「せんかりん」の2品目を完成させました。 ・青海の花畑スポット事業並びにインストラクター養成事業は実施できていません。	
	・ライトアップ、交通広告実施後、対馬市内や福岡方面の方々から、神話の里自然公園のキャンプ場及びコテージへの問い合わせがっており、一定の効果があつたものと判断しています。・ご当地スイーツは、2品目を完成させ、安定的に材料の調達が出来れば販売できる状況まで進んでいます。・青海の花畑スポット事業並びにインストラクター養成事業につきましては、コロナの影響等もあり、実施できませんでした。	
価	評価記号	△
	引き続き、中対馬未来づくりアクションプランを推進し、観光客誘致事業を実施することで、交流人口拡大、知名度アップを図るとともに、地域振興と活性化に取り組みます。	
今後の展開		

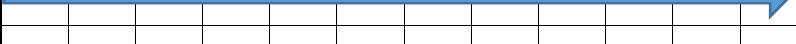
令和 4 年度 中対馬振興部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		窓口サービスの満足度向上と税・水道料金の納付促進及び管轄地区内の環境美化推進											
取組の内容		①迅速・丁寧な窓口・電話の対応を行うとともに、常に確認を怠らず正確な事務処理を実施します。 ②税の徴収率・水道料金の徴収率向上のため夜間納税相談及び電話催告を行います。 ③環境政策課と連携し、ごみ分別の徹底及び不法投棄防止の啓発に取り組み、巡回パトロールを実施します。											
指標（数値目標）		①職員相互の業務を把握し、確認することにより窓口業務処理誤り「ゼロ」を達成します。 ②税の現年徴収率を94%以上、滞納分徴収率を11%以上を年度末までに達成します。 ③環境美化推進の啓発活動のため管轄地区内の巡回を年3回実施します。											
SDGs指標		  			達成時期			令和5年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
迅速・丁寧で正確な対応及び課内相互確認の継続													
納税相談													
誓約の履行監視													
臨戸徴収													
管轄地区内の巡回、看板等の設置による防止活動													
ごみステーションの巡回、回覧等による啓発													

課名等	住民生活課	全体	38
		個別	10-02

指標に対する実績	①即修正可能な軽微な処理誤りはあったものの重大な業務処理誤りはゼロでした。 ②現年徴収率94.83%（前年比+1.55）となったものの滞納分徴収率は9.74%（前年比-0.99）でした。 ③年1回の振興局合同パトロールと併せ、目標巡回数3回に対し、6回実施しました。	
評価	滞納分徴収率が目標を下回ったものの、現年徴収率がおおよそ目標通りであり、環境美化推進については年6回実施したことにより目標を上回る実績を残したため、全体的に目標通りの実績を実現することができました。	
今後の展開	水道料金及び税の催告を徹底し、給水停止及び執行停止を強化するとともに、引き続き随時環境美化推進パトロールを行い不法投棄防止の啓発に取り組みます。	
	評価記号	○

令和 4 年度 中対馬振興部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外
	最優先課題	対象外
項 目		窓口サービスの満足度向上と税・水道料金の納付促進
取組の内容		担当者不在であっても来客対応出来るよう、部・課内担当者間の連携を密にし、職員個々のスキルアップを行い、窓口対応力を強化します。 また、税・水道料金の徴収率向上への取組を強化します。
指標（数値目標）		担当者間の連携強化を行い、事務遂行能力の強化を実施します。 税の現年度分徴収率94％以上、過年度分徴収率8％以上を達成します。 水道料の現年度分徴収率98％以上、過年度分徴収率65％以上を達成します。
SDGs指標		達成時期 令和5年3月
取組とスケジュール		4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
丁寧な窓口・電話対応		
職員のスキルアップ		
納税相談		
納税誓約の履行監視		
臨戸徴収		

課名等	峰行政サービスセンター	全体	39
		個別	10-03

指標 に対する 実績	税・水道料金の徴収率 税 現年度徴収率 目標94％ ⇒ 実績93.89％ 過年度徴収率 目標 8％ ⇒ 実績 8.65％ 水道 現年度徴収率 目標98％ ⇒ 実績97.53％ 前年度徴収率 目標65％ ⇒ 実績64.60％	
評価 価	窓口対応力の強化については、情報の共有・連携の強化で概ね達成出来ました。 税・水道料金徴収率の向上については、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し臨戸徴収を控えたことが、目標達成に影響し、概ね前年度並みの収納率となりました。	
	評価記号	△
今後の展開	引き続き、職員の連携・情報共有に努め、対応力の強化を実施します。 また、税及び水道料金については、徴収及び納期内納付意識づけの強化を実施します。	

令和 4 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する											
項 目		対馬の自然を生かした観光地の整備											
取組の内容		○三宇田浜園地リニューアル整備事業（三宇田キャンプ場改修） 日本の渚百選である三宇田浜のロケーションを生かし、施設利用者のニーズに対応したキャンプ施設に改修します。											
指標（数値目標）		○全体計画：平成30年度～令和4年度 ○今年度事業内容 ・オートキャンプサイト設置、園路新設及び改修、不要なテント台座の撤去、バンガロー設置（令和3年度繰越事業） ・炊事棟改修（令和4年度事業）											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
法律上の各種許可申請～承認													
オートキャンプサイト設置ほか（繰越事業）													
炊事棟改修													

課名等	地域振興課	全体	40
		個別	11-01

指標に対する実績	三宇田浜園地リニューアル整備事業（三宇田キャンプ場改修）のうち、令和3年度繰越事業については完成しました。 令和4年度事業については、工事を次年度で実施するよう計画変更しました。	
評価	令和3年度繰越事業は、関係機関との連携により、年度内の完成となりました。 令和4年度事業（炊事棟改修工事）については、補助事業の採択結果で一般財源が増加することとなり、長崎県との事業調整の結果、次年度実施が了承されました。	
	評価記号	△
今後の展開	工事完成による三宇田キャンプ場の早期再開を目指し、基本・実施計画に基づいて事業を実施します。	

令和 4 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する											
項 目		対馬の自然を生かした観光地の整備											
取組の内容		○鰐浦園地リニューアル整備事業 北部対馬の主要な観光地である鰐浦園地について、施設の老朽化が著しいことから展望所のリニューアル、遊歩道・豊砲台付近の整備を行います。											
指標（数値目標）		○全体計画：令和２年度～令和５年度 ○今年度事業内容 ・韓国展望所内装改修、外構等詳細設計（令和３年度繰越事業） ・韓国展望所外装改修、スロープ設置、ピロティ改修、外構（歩道及び側溝）工事（令和４年度事業）											
SDGs指標								達成時期		令和６年３月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
法律上の各種許可申請～承認													
韓国展望所内装改修、外構等設計（繰越事業）													
韓国展望所リニューアル													

課名等	地域振興課	全体	41
		個別	11-02

指標に対する実績	鰐浦園地リニューアル整備事業のうち、令和３年度繰越事業については完成しました。 令和４年度実施事業は、次年度への繰越事業となりました。	
評価	令和３年度繰越事業については、関係機関との連携により、年度内の完成となりました。 令和４年度実施事業は、繰越事業の入札不調などの影響で事業着手が困難となり、長崎県との協議の結果、次年度実施が了承されました。	
	評価記号	△
今後の展開	工事完成による韓国展望所の早期再開を目指し、基本・実施計画に基づいて事業を実施します。	

令和 4 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上											
取組の内容		・ 職員相互間の情報の共有化を図り、市民ニーズに対し窓口のワンストップ体制を構築し、主担当が不在の場合でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応では、親切丁寧な窓口サービスをします。											
指標（数値目標）		・ 積極的に各種研修を受講し、職員としてのスキルアップを行い、窓口対応においては、市民にわかりやすい丁寧な言葉遣いで、苦情の少ない窓口サービスを達成します。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
毎週課内ミーティングを行い職員相互間の情報の共有化													
親切丁寧な窓口受付・電話対応													
税務研修・戸籍研修その他研修会への参加													

課名等	住民生活課	全体	42
		個別	11-03

指標に対する実績	・ 窓口、電話対応においては、優しい言葉遣いや親切丁寧な接客に取り組みました。 ・ 各種研修会に積極的に参加し、職員としての知識習得やスキルアップを図り、他業務の仕事内容の把握に取り組みました。 ・ 毎週課内ミーティングを実施し、職員間の情報の共有を行いました。 ・ 窓口、電話対応における苦情はありませんでした。	
評価	・ 職員間の情報の共有化や他職員の仕事を把握し、主担当が不在でも市民のニーズに対応できる体制を構築し、市民が満足できる行政サービスを提供することができました	
	評価記号	○
今後の展開	・ 引き続き、窓口・電話対応の適正化・スピード化を実現し、市民ニーズに応えられる体制づくりに取り組みます。	

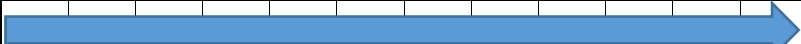
令和 4 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	貴重な資産・資源を継承・活用する											
項 目		対馬の希少動物の保存と活用による観光振興											
取組の内容		対州馬の繁殖とあそうベイパークにおける対州馬活用推進計画及び年度毎の推進工程に基づき、「対州馬の繁殖」、「対州馬を活用するための人材確保及び人材育成」、「対州馬の魅力の共有及び発信」並びに「計画推進のために必要な施設等の整備」を進めていきます。											
指標（数値目標）		①対州馬の頭数を44頭にします。 ②次年度開催予定のシンポジウムの準備企画として、「対州馬と対馬の歴史トークショー」を3回開催します。 ③対州馬をととした地域間交流を3回開催し、対州馬の飼育及び騎乗技能等を修得する対州馬少年クラブを10回開催します。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対州馬の増頭													
対州馬と対馬の歴史トークショーの開催													
島外との対州馬をととした地域間交流													
対州馬少年クラブの開催													

課名等	上県行政サービスセンター	全体 個別	43 11-04
-----	--------------	----------	-------------

指標 に 対 す る 実 績	①対州馬の頭数は2頭の繁殖に成功し、45頭に増加、目標を上回りました。 ②SNSを活用し、オンラインにて「対州馬と対州馬の歴史トークショー」を3回実施しました。 ③仙台市八木山動物園公園が対州馬を飼育していることが縁で、宮城県仙台市の乗馬クラブの子供たちを中心とした地域間交流をオンラインにて3回実施しました。また、対州馬少年クラブは年間で14回の実施となりました。	
評 価	数値目標についてはすべて達成することができています。特に対州馬2頭の繁殖に成功し、頭数が増加したことは意義があると思われます。	
今 後 の 展 開	評価記号	◎
	何よりも資産・資源としての「対州馬」の繁殖を中心に、その活用価値を高めるため、引き続き「対州馬の繁殖とあそうベイパークにおける対州馬活用推進計画」及び年度毎の推進工程に基づき、必要な施設等の整備を進めていきます。	

令和 4 年度 会計管理者 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		安全で効率的な公金管理と適正な会計事務											
取組の内容		①公金の安全で効率的な管理・運用を行います。 ②予算の執行手続きが法令等に基づき適正に執行されているかを厳正に審査します ③会計事務を適正・確実かつ効率的に行うため、会計事務を行う職員のスキルを向上させます。											
指標（数値目標）		①金融機関情報の収集（随時）及び公金管理委員会の開催（5月開催）。 ②監査による例月検査における指摘事項件数を減らします。 ③会計課職員その他、会計事務を担当する職員に対する研修、意見交換、随時の指導等を行うとともに、会計事務マニュアルを作成し年度末までに担当職員に配布します。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公金管理委員会の開催			■										
出入金管理（随時）													
予算執行書類の審査（随時）													
会計事務研修・意見交換・指導													
会計事務マニュアルの作成・配布													

課名等	会計課	全体	44
		個別	12-01

指標 に対する 実績	①公金管理委員会を令和4年5月25日に開催しました。 ②例月検査の指摘件数（2月末現在）は、290件（令和3年度195件）で、95件の増となりました。 ③令和5年3月に伝票審査マニュアルを作成しましたが、担当職員への配布はできませんでした。	
	例月検査の指摘件数が増加しましたが、伝票審査マニュアルを作成したことで、審査手順等が明確となりました。	
評価		
	評価記号	△
今後の展開	伝票審査マニュアルにより、効率的な審査が実施できるようになり、適正・確実な会計事務を行っていきます。	

令和 4 年度 消防本部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		地区消防団員の増員、車両の適正配備及び資機材の充実配備											
取組の内容		○各地区基本消防団員の増員 入団促進のDVDを活用した広報活動等を実施します。 ○認定事業所の増加 未認定事業所の洗い出し、認定取消となった事業所に対して再加入の促進・説明等を実施します。											
指標（数値目標）		○消防団員の増員・・・1, 460人（R4.4.1現在1, 416人） ○認定事業所の増加・・・44施設（R4.4.1現在42施設）											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防団組織等改革推進委員会													
消防団員増強に向けた活動													
認定事業所数の増加に向けた活動													

課名等	総務課	全体	45
		個別	13-01

指標に対する実績	○消防団員の増員……R5.4.1現在 1, 318人 (R4.4.1現在より98人減) ○認定事業所の増加……R5.4.1現在31施設 (R4.4.1現在より11施設減)		
評価	消防団員の増加及び認定事業所の増加について、コロナの影響で特筆すべき取組はできておりません。団員減少は団員の高齢化等による退団者数の増加が大きな要因です。それに伴い認定事業所要件(従業員等が団員として3名以上入団している等)を満たせないケースができています。		
	評価記号	×	
今後の展開	今後、団幹部と連携を密にとり、入団促進のDVDを活用した広報活動等の実施及び未認定事業所の洗い出しに加えて認定取消となった事業所に対して再加入の促進・説明等を実施します。		

令和 4 年度

消防本部

組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療体制を整える											
項 目		応急手当の普及啓発活動											
取組の内容		令和3年度の市民によるAED使用実績は3件で、ショックは未実施でした。対馬島内に設置されたAEDを有効活用するために、市民の皆様に対し、実際の市民による勇気ある行動を例に挙げながら、応急手当の普及啓発活動を実施し目標達成に取り組めます。											
指標（数値目標）		昨年度の受講者数は814名でありました。市民の皆様が応急手当に対する理解を深め、バイスタンダーとして勇気ある手当を実施できるよう、普通救命講習及び救急法の指導に取り組めます。 目標受講者数：1,000名											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普通救命講習及び救急法指導の開催													
対馬市ホームページに応急手当実施要領の掲載													

課名等	警防課	全体	46
		個別	13-02

指標に対する実績	昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、普通救命講習会、応急手当講習会の受講者数が、目標数の1000名に対して267名でした（普通救命講習会120名、応急手当講習会147名、計267名）。	
評価	新型コロナウイルス感染リスク回避のため応急手当講習会等が開催できず、受講者が目標に達しなかったことは遺憾です。しかし、市民生活・行動が制限される中、対馬市ホームページに最新の応急手当実施要領（ガイドライン2020）を掲載し、応急手当の普及を実施しました。	
	評価記号	△
今後の展開	新型コロナウイルス感染者も減少傾向となり、市民、事業所等に年間を通して応急手当に対する理解を深めていただけるよう応急手当の普及啓発に取り組んでいきます。また、消防職員が出向して実施する講習会等（消防団員訓練、学校・事業所等の消防訓練等）において応急手当講習会等の開催依頼、対馬市ホームページ、広報への掲載を実施します。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 4 年度 消防本部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		防火対象物及び危険物施設に関する違反是正											
取組の内容		防火対象物並びに危険物施設の違反を是正し、早期改修が可能なソフト面から、費用が発生するため関係者への負担が大きいハード面の違反に至るまで、関係者へ施設利用者の安全第一が最優先事項である旨の理解を求めて、違反件数半減を達成します。											
指標（数値目標）		防火対象物、危険物施設の違反件数半減を達成します。 （半減数値 防火対象物違反 219件 危険物施設違反 39件） 防火対象物違反件数 438件 危険物施設違反件数 77件 ※令和3年度末までに実施した立入検査で把握したものです。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防火対象物査察（火災予防運動・歳末火災特別警戒・文化財防火デー）													
危険物施設査察（危険物安全週間）													
各施設違反指摘事項の改修確認・継続指導													

課名等	予防課	全体	47
		個別	13-03

指標に対する実績	令和４年度の防火対象物における立入検査実施総数４２８件のうち違反件数３３２件。その違反件数の中で改修件数が７７件で、目標数値を大きく下回りました。また、危険物施設における立入検査実施総数２９９件のうち違反件数１６０件。その違反件数の中で改修件数が３６件で、こちらも目標数値を下回りました。	
評価	コロナ禍の影響により休止状態の防火対象物において関係者不在等の要因で、各種届出の未報告及び各種点検報告の未実施、それに伴う消防用設備等の機能維持不適等の違反や危険物施設も老朽化に伴い構造・設備等の維持不適違反が増加となりました。	
	評価記号	×
今後の展開	引き続き、立入検査時における関係者への丁寧な説明を心掛けるとともに、消防法令順守の重要性について理解を求めます。また立入検査以外においても、定期的に違反改修の進捗について関係者へ電話連絡等の手段を用いて確認指導の継続を実施します。	

令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む
項 目		島っこ留学制度による留学生の招致推進
取組の内容		「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として、平成27年11月からスタートした制度で、複式学級の解消等も考慮し取り組みます。
指標（数値目標）		【最終目標】 令和7年度末までの留学生累計30名 【活動指標】 HP更新5回以上、SNS発信30回以上による情報発信 福岡での事業説明会 1回 島っこ留学推進協議会の開催 3回 【成果指標】 新規留学生招致3名以上（小学生若しくは中学生）
SDGs指標		4 良の質い必置を やんまに 達成時期 令和8年3月
取組とスケジュール		4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
島っこ留学推進協議会		5月 8月 1月
広報・募集活動		4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
事業説明会（福岡会場）		10月
事前視察		11月
留学生確定		1月

課名等	教育総務課	全体	48
		個別	14-01

指標に対する実績	・佐須奈小中学校校区に新規1世帯の里親を確保し、1名の留学生を受け入れました。 ・HP更新を2回、SNSによる情報発信を27回実施しました。 ・福岡事業説明会は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。 ・島っこ留学推進協議会 3回開催	
評価価	・令和4年度の事前視察は、4家族（留学希望者4名）を受け入れました。事前視察を行った4名全員から留学申込書の提出があり、1名を令和5年度留学生に決定しました。	
	評価記号	△
今後の展開	留学生の受入体制を充実させるために、特定校区内で里親募集を行っていましたが、市内全域に募集範囲を拡げ、里親の新規開拓を行います。	

令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成											
取組の内容		地域住民や保護者ととともに、地域を支えていくことができる人材育成を喫緊の課題と捉え、校種や地域と連携し、対馬の歴史や自然、文化、環境問題等を題材にした学習を通して、将来を生きていく軸を育てるとともに、ふるさとによりよい未来を創造することができる資質や能力を持った児童生徒の育成に取り組みます。											
指標（数値目標）		①学校訪問時及び各種研修会における指導助言を年間15回以上実施。 ②ICTを活用した授業支援と研修会を年間4回以上実施。 ③学力調査結果の分析と全ての小中学校で学力向上プラン作成。 ④全小中学校でふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成。 ⑤学校運営協議会の全校設置に向けた年次（5年間）計画作成。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校訪問時及び各種研修会における指導助言		→											
ICTを活用した授業支援と研修会		→											
学力調査結果の分析と学力向上プラン作成													→
ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成		→											
学校運営協議会の年次設置計画作成		→											

課名等	学校教育課	全体	49
		個別	14-02

指標 に対する 実績	① 年間指導助言回数年間15回以上に対し、学校訪問や研修会等において年間30回以上の講義や指導助言を実施しました。 ② 年間4回以上の目標に対し、ICTを活用した授業支援と研修会を合わせて9回実施しました。（研修会6回、学校を訪問しての授業支援等3回） ③ 全小中学校が学力向上プランを作成し、学力向上に取り組みました。 ④ 全小中学校で全体計画を作成しました。 ⑤ 学校運営協議会の全校設置に向けて令和5年度から9年度までの5年間の計画を作成しました。	
	学校訪問時及び各種研修会については、目標を大きく上回る指導助言や講義を実施したことで、最新の教育情報の周知や指導の改善をすることができました。 学校を訪問しての授業支援や研修会での積極的なICT活用により学校におけるICT活用を促進することができました。 学力向上プランの作成により各学校の実態に応じた具体的な取組が進められています。 学校運営協議会の導入に向けた年次計画を作成したことで今後の取組を明確にすることができました。	
評価	◎	
	評価記号	◎
今後の展開	授業におけるICT活用状況に個人差が見られるので、ICTの更なる活用に向けた研修会を充実させ、教職員一人一人の指導力を向上させます。 児童生徒一人一人の学習状況を経年で客観的に把握するため、全国や県が実施する学力調査等とは別に学力調査を実施します。その結果を活用し、授業改善や指導の工夫をすることで児童生徒の学力を向上させます。	

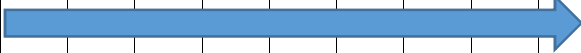
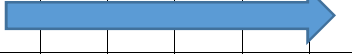
令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む 大人たちが対馬の魅力を知り誇りを持つ											
項 目		生涯・競技スポーツの普及振興											
取組の内容		少子高齢化の影響により、「社会体育施設の利用者数及び使用料収入の減少と老朽化による維持管理費の増大」、「スポーツに対する市民ニーズの多様化」が課題となっています。そこで、体育施設の適正な配置の検討を進めるとともに、市民が利用しやすい施設の環境整備に取り組みます。											
指標（数値目標）		○社会体育施設の適正配置の検討について 体育施設適正配置及び利活用推進委員会の開催：4回 ○社会体育施設の利活用推進について 県内スポーツチーム等と連携したスポーツ教室の開催：2回 市民が利用しやすい施設の環境整備											
SDGs指標		4 質の高い教育を みんなに 17 パートナーシップで 目標を達成しよう						達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設の環境整備 ※通年													
体育施設適正配置及び利活用推進委員会の開催													
スポーツ教室の開催に向けたプロスポーツチームとの協議													
スポーツ教室の開催													

課名等	生涯学習課	全体	50
		個別	14-03

指標に対する実績	○社会体育施設の適正配置の検討について ・体育施設適正配置及び利活用推進委員会を3回開催し、「対馬市体育施設の適正配置及び利活用の推進に関する答申書」が提出されました。 ○社会体育施設の利活用推進について ・一流スポーツ選手等によるスポーツ教室を4回開催しました。 ・使用不可となっていた豊玉総合運動公園テニスコート（Cコート）の人工芝の張替工事が完了しました。	
評価	「対馬市体育施設の適正配置及び利活用の推進に関する答申書」により、今後の対馬市の体育施設の存続や廃止等に関する指針が明確となりました。 また、一流スポーツクラブ等によるスポーツ教室は目標を上回る4回開催し、目標を達成することができました。豊玉総合運動公園テニスコートの人工芝張替によって、全島規模の大会が開催できる施設環境に改善することができました。	
	評価記号	○
今後の展開	今年度完成した答申書に基づき、施設の長寿命化や廃止などについて、計画的に取り組んでいきます。 また、スポーツイベントなどのソフト事業と施設維持管理に係るハード事業を両輪として、効果的な体育施設の利活用の推進に取り組んでいきます。	

令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり												
	最優先課題	貴重な資産・資源を継承・活用する												
項 目		文化財の保存と活用												
取組の内容		対馬を代表する歴史文化遺産を保存しその価値を後世へ伝えていくために、対馬博物館や観光商工課と連携します。 また、過去の調査報告や今後の事業計画を作成し、市民への情報発信を行っています。												
指標（数値目標）		・対馬藩関連遺産群委員会を2回実施し、整備基本計画を策定します。 ・越高遺跡委員会を3回（web2回）実施し調査報告書を作成します。 ・シンポジウムやバス見学ツアーなどの文化財活用事業を2回以上実施します。												
SDGs指標											達成時期		令和5年3月	
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
対馬藩関連遺産群整備基本計画策定														
越高遺跡の調査報告書作成														
周知活用事業の開催														

課名等	文化財課	全体	51
		個別	14-04

指標に対する実績	・対馬藩関連遺産群の整備基本計画策定に向けた委員会を3回実施し、金石城跡及び旧金石城庭園の活用に向けての具体的な整備の方法・内容を示した整備基本計画書を作成しました。 ・越高遺跡調査検討委員会を2回、現地確認調査を1回実施し、報告書の内容について協議を重ねました。 ・文化財活用事業において、シンポジウムのほか現地見学ツアーを3回、写真パネル展を2か所で実施しました。	
評価	・対馬藩関連遺産群整備基本計画書の完成により、今後の金石城跡及び旧金石城庭園の整備・活用の具体的な道筋が明確となりました。 ・越高遺跡の総括報告書の内容について協議を重ねた結果、より充実した内容にするための方向性を確認することができました。 ・文化財活用事業の実施により、市民の皆様に対馬の文化財を今まで以上に身近に感じてもらえることができました。	
	評価記号	◎
今後の展開	越高遺跡に関しては、引き続き総括報告書の作成を進め、国指定への具申資料としていきます。また、文化財活用事業を継続して実施し、対馬の文化財への理解を深めていきたいと思っています。	

令和 4 年度 議会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		議会運営の充実と市民に開かれた議会											
取組の内容		正確、円滑な議会運営・議会活動の支援を行うとともに、議会に対する市民の理解・関心度を高めるため、議会情報の積極的に発信し、市民に対して開かれた議会づくりと議員活動への支援を行います。											
指標（数値目標）		・各種研修会への積極的な参加、議会運営等に係る先進地事例の情報収集等を行い、正確かつ円滑な議会運営を支援します。 ・議会だよりの定期発行、充実及び議会報告会の開催を支援します。 ・市ホームページへ議会情報を積極的に発信します。 ・老朽化した議場会議システムの更新を計画します。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
議会運営の円滑・充実													
事務局職員の資質の向上													
議会情報の積極的な公開													

課名等	議会事務局	全体	52
		個別	15-01

指標に対する実績	議会運営等の支援については、特に問題となる事案等も無く一定の支援はできました。市民への情報発信については、コロナ禍を勘案して議会報告会は中止としましたが、議会だよりにについては、定期発行及びページ数の増により充実した情報発信ができました。 また、市ホームページに議案書、委員会活動などを掲載し新たな市民への情報発信を行いました。	
	議会だよりの改善及び市ホームページへの議会情報の掲載と情報発信を充実強化できました。	
評価		
	評価記号	○
今後の展開	引き続き、正確、円滑な議会運営・議会活動の支援を行うと共に、市民に対して開かれた議会づくり（情報発信）への支援を積極的に行っていきます。	

令和 4 年度 監査委員事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		監査等の実施における適正な事務補助												
取組の内容		監査委員の事務を補助する組織として、監査委員の指揮のもと公正・中立な立場で行財政の適法性、効率性などを市民の視点でチェックし、特に定期的に行う監査等は、適正で、効率的かつ効果的な行財政運営の確保に資する実効性の高い監査等に取り組みます。具体的には、「対馬市監査実施計画」に基づき監査事務に遅滞のなきよう各種監査（例月現金出納検査、決算審査、定期監査、支援団体等監査等）を行うとともに、「対馬市監査基準」に従って、監査委員が正確かつ効果的な監査等を実施できるよう補助を行います。												
指標（数値目標）		○毎会計年度で定期的に行う監査等 ・例月現金出納検査（自治法）・・・毎月２０日以降月末まで（７月を除く） ・決算審査（自治法、公企法）・・・年１回、７～８月実施 ・定期監査（自治法）・・・年１回、２月実施 ・財政支援団体等監査（自治法）・・・年１回、１１月実施												
SDGs指標									達成時期			令和５年３月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
例月現金出納検査		■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	
決算審査					■	■								
定期監査												■		
財政支援団体等監査							→							

課名等	監査委員事務局	全体	53
		個別	16-01

指標 に 対 す る 実 績	・例月現金出納検査（自治法）・・・89日間実施し、市長と議長あて報告書を提出しました。 ・決算審査（自治法、公企法）・・・11日間各課毎に審査を実施し、意見書を市長に提出しました。 ・定期監査（自治法）・・・9日間実施し、市長と議長あて結果を報告しました。 ・財政支援団体等監査（自治法）・・・4日間で4団体の監査を実施し、会計処理等の改善や検討を文書で依頼しました。	
	・監査委員の指揮のもと財政支援団体等や本市の財務に関する事務について、公正・中立な立場で行財政の適法性、効率性などを市民の視点でチェックし、監査委員が正確かつ効果的な監査等を実施できるよう補助しました。	
評 価	評価記号	○
	今後も引き続き、監査委員が正確かつ効果的に監査等を実施できるよう補助します。	
今 後 の 展 開		

令和 4 年度 農業委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		農地等の利用の最適化の推進											
取組の内容		農業委員会は農地等の利用の最適化、農地法に基づく農地の売買・賃借の許可などを農業委員と農地利用最適化推進委員が行っております。 農業委員会事務局は農業委員を補佐する組織として、農業委員会の中心業務である農地等の利用の最適化の推進が円滑に行われるように農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動をサポートしていきます。											
指標（数値目標）		①総会を滞りなく開催します。（総会開催月数／許可申請発生(15日締め)月数＝100％） ②農地利用意向調査及び非農地通知を実施します。（意向調査実施件数／農地利用状況調査で耕作放棄地と判明した件数＝100％） ③研修会を開催します。（年1回）											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申請に対する総会の開催													
農地利用意向調査													
非農地通知													
研修会													

課名等	農業委員会事務局	全体	54
		個別	17-01

指標に対する実績	①許可申請発生月の総会を滞りなく開催しました。 許可申請発生月数8月のうち総会開催月数8月 ②農地利用意向調査及び非農地通知を実施しました。 農地利用状況調査で耕作放棄地と判明した件数438件のうち意向調査実施件数438件 ③研修会を実施しました。 6月、10月実施	
評価	目標を達成することによって、農業委員会の農地等の利用の最適化の推進活動の円滑化に寄与しました。	
	評価記号	○
今後の展開	今後も、引き続き、農地等の利用の最適化の推進が円滑に行われるように農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動をサポートして行きます。	

令和 4 年度 選挙管理委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		投票参加の促進											
取組の内容		・選挙制度(期日前投票、不在者投票等)への有権者の理解を深められるよう、対馬市CATV、広報、ホームページ及びSNS等により更なる情報発信に取り組みます。 ・参議院議員選挙 令和4年7月頃予定 ・県議会議員選挙 令和5年4月頃予定											
指標（数値目標）		・対馬市CATV「おしえて！市役所さん」で期日前投票等選挙制度の積極的な活用についてお知らせを選挙毎に1回以上実施し、広報、ホームページ及びSNS等での情報発信に取り組みます。											
SDGs指標								達成時期		令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
情報発信（参議院議員通常選挙）													
情報発信（県議会議員選挙）													

課名等	選挙管理委員会事務局	全体	55
		個別	18-01

指標に対する実績	参議院議員選挙においては、「おしえて！市役所さん」、ホームページ、SNS、懸垂幕、横断幕に加えて、上対馬高校において選挙制度の説明会を実施し、県議会議員選挙においては、広報、「おしえて！市役所さん」、ホームページにより投票の向上に取り組みました。		
評価	参議院議員選挙においては、前回選挙（令和元年参議院議員選挙）と比較し、対馬市での投票率が1.36ポイント上昇しました。		
	令和元年参議院議員選挙 58.67% 令和4年参議院議員選挙 60.03%		
	評価記号	○	
今後の展開	引き続き、広報啓発活動を実施することで、投票率の上昇に取り組みます。		